

埼玉に海はないけれど…

2019年度 獨協大学地域総合研究所シンポジウム

埼玉の魅力創出、 発信と埼玉の未来

講演

『「翔んで埼玉」脚本執筆に際し考えたこと』

徳永友一氏



(映画「翔んで埼玉」脚本、獨協大学法学部卒業)

【開催日時】

2019年

10/26 (土)

13時30分～15時45分

入場無料・予約不要

シンポジウム

「埼玉の魅力創出、発信と埼玉の未来」

徳永友一氏

鈴木涼太郎 (獨協大学外国語学部准教授)



森永卓郎 (獨協大学経済学部教授)



コーディネーター

倉橋 透 (獨協大学地域総合研究所所長)



【会場】

獨協大学

天野貞祐記念館大講堂

【主催】

獨協大学地域総合研究所

【後援】

国土交通省関東地方整備局、埼玉県

 **獨協大学**
DOKKYO UNIVERSITY

埼玉の魅力創出、発信と埼玉の未来

映画「翔んで埼玉」の大ヒットにみられるように、埼玉は地味なイメージを持たれがちである。ベッドタウンという性質から、魅力の創出や発信が十分ではなかった可能性もあろう。今後は、高齢化が進み、空き家の多い停滞した地域になってしまう懸念もある。このシンポジウムでは、埼玉の活力を将来も維持していくうえで重要と考えられる、子育て世帯が流入してくる地域づくりや、外国人も含め来訪者にアピールする魅力の創出、発信の方策について議論したい。

<プログラム>

13:30-13:50 趣旨説明と問題提起 倉橋 透

- ・シンポジウムの流れと登壇者の紹介
- ・現在の埼玉の特徴をどうとらえるか
- ・未来の埼玉の課題は何か
- ・埼玉の活力を将来も維持していく具体的な方策は何か

13:50-14:20 基調講演 徳永友一氏『「翔んで埼玉」脚本執筆に際し考えたこと』

14:20-15:00 シンポジウム 『埼玉の魅力創出、発信と埼玉の未来』

登壇者：徳永友一氏／鈴木涼太郎／森永卓郎

コーディネーター：倉橋 透

<テーマ>

- ・高齢社会における家族の形や人々の夢とは
- ・子育て世帯が流入してくる埼玉とは、地域づくりの施策とは
- ・外国人も含め来訪者にアピールする魅力づくりとは（体験型観光の場づくりなど）、発信の仕方とは（サイトなど）

15:00-15:15 休憩

15:15-15:45 会場との質疑応答

【問い合わせ】 獨協大学教育研究推進課 048-946-2034

東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通東武スカイツリーライン「獨協大学前（草加松原）」

西口より徒歩5分

※駐車場の用意はございません。公共機関をご利用ください。

